



[トップ](#) [暮らしの情報](#) [文化・スポーツ](#) [生涯学習・社会教育](#)

ひので映画大使最新版

[2015年7月6日]

第61回映画大使「シンドバッド 空とぶ姫と秘密の島」

- ・ 期日 平成27年6月25日(木曜日) ※試写会にて開催
- ・ 場所 イオンシネマ日の出

作品紹介

古くから語り継がれ、多くの映像化作品の題材になってきた『アラビアンナイト(千夜一夜物語)』。その中でも最も有名な物語の一つ「シンドバッド」を映画化。

制作は、テレビアニメ『世界名作劇場』シリーズなどを手がけた日本アニメーションが、『STAND BY ME ドラえもん』で日本中に感動をもたらした白組とタッグを組む。

監督は「ドラえもん のび太の恐竜2006」の演出をした宮下新平、作画及びキャラクターデザインは「となりのトトロ」などの数多くの作品を手掛けてきた佐藤好春という日本を代表するクリエイターが担当した。

声の出演は、シンドバッドには「ワールドトリガー」の主演・空閑遊真で実力を発揮した村中知。ヒロインのサナには雑誌のモデル・ドラマでも活躍中の女優、田辺桃子が務め、アリには永澤菜教が、ナジブには宮澤正と名優が脇をかためている。また俳優の鹿賀丈史や薬師丸ひろ子といったアニメの枠を超えたキャストが集結している。



(C) プロジェクト シンドバッド

映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

映画大使の「第一声！」

- ☆ 冒険の物語はいいですね！
- ☆ 懐かしく思いました！
- ☆ 安心して観ていられたね。
- ☆ 続きが楽しみです！
- ☆ このようなアニメ作品は夢があっていいですね！



今回参加された、映画大使の皆さんです！

映画大使の「映画のツボ！」

Aさん

アニメーションの3部作の1作目ということで、すべての始まりが描かれていて、主人公『シンドバッド』の冒険の始まりや、勇気などが描かれているなあと感じましたね。コンピュータグラフィックで描かれるアニメとは違って、色彩が自然なところが良かったですね。

Bさん

夢と希望の世界があって、シンドバッドが果敢に立ち向かっていくのは素敵だなと思いました。続きがとても楽しみです。

Cさん

アニメーションが、コンピュータグラフィックを使っていない昔に観た昔ながらのアニメーションで懐かしく感じましたね。作品をととても丁寧に作っているなと思いました。

Dさん

挿入歌がとても綺麗な声で『シンドバッド』やお姫様に合っている雰囲気構成になっているなと思いましたね。悪と正義の戦いの中でも、やはりアニメとはいえ、正義はいい顔をしているなと思いました。正義が勝つというのが、わかっていて安心して観ていましたね。戦いのシーンでは“がんばれ・がんばれ”と心の中で叫んでいました。

楽しく見させていただきました！

Eさん

最初、ドキドキしているような感じでした。空から宝石が落ちてきたシーンは「ラピュタ」のようだなと思いましたね。挿入歌の声はすごく良い感じで、いいなと思いました。上映時間は、小さな子どもが観るのにちょうどいい長さだなと思いましたね。

Fさん

このシンドバッドは昔からのお話で結末はわかっています。今回の作品は3部作で、1話ずつ完結するようになっているのですが、今回の1作目についても、最後は正義が勝つという話になっていたのが、安心して観ていられたですね。

Gさん

シンドバッドが飼っている白いサルが『ミミ』が可愛いなと思いましたね。やはり、そういうキャラクターがいる事で、ストーリーに温かみがうまれますよね。

Hさん

よく本を読んでから映画を観ると自分のイメージと違う事が多いです。この「シンドバッド」は自分のイメージとのギャップをあまり感じませんでしたね。『シンドバッド』(冒険者)とお姫様のイメージはこのような感じと決まっているからかもしれませんね。

Iさん

勇気と冒険があって良いですね。シンドバッドの先輩のアリとシンドバッドのキャラクターが違って、アリのちょっとぼーっとしているところが物語を盛り上げていましたね。

作品の内容(印象に残ったシーンなど)

- ・このようなアニメ作品は、夢があっていいですね。安心して子どもに観せられます。
- ・この映画のチケットは、中学生以下は2回回以降何度でも観られる乗船パス(フリーパス)をいただけるようなので、親が買い物をしている間に子どもが観ているのもいいかもしれませんね。
- ・懐かしい感じがしましたね。
- ・コンピュータグラフィックで描かれている映像と違いアニメーターの方ががんばって描いているのが伝わってきますね。

・冒険物の作品は期待感やドキドキ感があっていいですね。海賊が出てきて、宝をみつけに行くとかそのような物語は楽しいです。次がどうなるんだろうと思いながら観ていました。

・2部作、3部作(続き)を観るのが楽しみです。

・最近のアニメ作品には複雑な物語の作品もありますが、今回の作品は、良い人と悪い人が描かれていて最後には必ず良い人が勝つといった話になっているので安心して観ていられたね。最後はハッピーエンドで終わるなどわかりますね。

・戦闘の場面はあるが残酷なように描いていないのが良かったですね。

・この作品を観て原作の本を読みたくなりました。

・一部作、二部作、三部作のそれぞれが完結していて、それぞれを観ても楽しめる内容になっていますが、三部作全てを観ると物語が繋がってさらに発見があるように出来ていると思われそうですね。

・悪役の親方は誰なのか、シンドバッドのお父さんは生きてこれから登場するのか、シンドバッドのお母さんには秘密があるのではないか、などいろいろと想像が膨らみますね。

まとめ

この作品は『アルプスの少女ハイジ』や『フランダーズの犬』などのテレビアニメ『世界名作劇場』シリーズの日本アニメーションが創業40周年を記念して手がけた劇場用アニメーション作品です。『世界名作劇場』を観ていた年代の方には懐かしく、また若い年代の方には、最近のコンピュータグラフィックで描かれているアニメとは違う、新鮮さを感じることができる作品となっています。

物語については、原作が古くから語り継がれてきた「シンドバッド」ということもあり、冒険や戦いがあり、ハラハラドキドキするとともに、戦いのシーンでは、どんなときにも悪に立ち向かう勇気を持つことが描かれており、さらに家族愛も盛り込まれています。戦いのシーンも残酷な表現をしていないところからも、安心して小さなお子様にも観ていただける作品です。

この作品は3部作の中の1作目にあたり、始まりの部分が描かれています。3部作とはいえ、この作品だけでも完結はしていますが、続きや、最後の結末が気になるような作りにもなっていて、何気ないセリフが、実は全ての作品を観ると、物語の中で大事な意味を持っているようになる事を予感させる作品になっています。

劇場の大スクリーンで是非、ご覧ください！

映画大使では、年代も性別も違う方達が、それぞれ意見を出し合いひとつの映画について話し合うという、日ごろできない経験をする事が出来ます。映画を観て自分がこう思っただけではなく、年齢や経験などの違う人の目線で観たことを聞くことにより、違った発見があるので、ひとつの映画が何倍にも広がって行きます。

今後も「ひので映画大使」にご期待ください！！

関連ページ

- ・ [これまでのひので映画大使](#)
- ・ [ひので映画大使のトップに戻る](#)

お問い合わせ

東京都 日の出町 文化スポーツ課 社会教育係
電話: 042-597-0511(内線541) ファクス: 042-597-6698

ひので映画大使最新版への別ルート

[トップ](#) [新着情報](#)

Copyright (C) Hinode Town All Rights Reserved.